

# JEITA

## 健康・医療の周辺におけるデータ活用 コンファレンス

～データ活用が「〇〇」を変える～

日時 平成 28 年 10 月 6 日（木） 10:00 ～ 12:30

場所 幕張メッセ 国際会議場 コンベンションホール A

主催 一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）CPS/IoT 推進タスクフォース

聴講者 584 名

### ◆ 概要

IoT（Internet of Things）・ビッグデータ分析・人工知能（AI）等の発展によって、関係者が蓄積した情報やさまざまな機器・センサーから得られる情報を利活用することで創出した価値により、あらゆる分野の産業の活性化や社会問題の解決を図ることが期待されている。

特に少子高齢化が進む日本。地域においても人口減少と医療費増大が進む中、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、急速な高齢化の拡大により、医療費等の増加など社会問題の解決を図ることが急務となっている。それらの課題に対して、例えば、レセプト情報・特定健診等の情報やウェアラブルデバイスを通じて収集される個人の健康情報を活用し、個人に見合った予防・健康管理サービスの提供によって、生活習慣が改善され、その結果、医療費の伸びの抑制につながる可能性がある。

今回のコンファレンスでは、健康・医療の周辺にあるデータに焦点をあて、データが集まることで何がどう変わるのか、政府の取組みや活用事例などの最新事情について紹介した。

CPS/IoT 推進 TF 二梶木主査の開会挨拶後、6名の講演者より、データ活用に関する取組み等についてご講演いただいた（プログラム参照）。後半のパネルディスカッションでは、地域医療の現場の視点からどのような政策活用が考えられるか、また、IoTが進化していく前提でもっとあればいいと思われるセンサーやデバイスは何か、モバイル

アプリと地域医療との連携をどう考えるかなど、データとアプリケーションの活用、情報端末とセンシングデバイスへの期待などについて議論が行われた。最後に本 TF 亀尾副主査より、IT・エレクトロニクス産業を担う業界団体として、CPS/IoT 社会の実現に向けて、さまざまな成長分野との連携を積極的に進め、地域経済や社会の活性化を目指すとの挨拶があり、閉会した。

本コンファレンスは、定員を超える聴講となり、参加者の関心が高いセッションとなった。



▲立見が出るほど満員となったコンファレンス会場



▲地域医療の視点で意見が交わされたパネルディスカッション



## 開会挨拶

JEITA CPS/IoT 推進タスクフォース 主査 二椛木 克洋



## 【講演 1 : データ活用が「ヘルスケア」を変える】

## 人口減少社会に不可欠な医療提供体制の効率化とデータ活用について

高橋 泰 氏 | 国際医療福祉大学 医療福祉学部 学部長、教授

2030 年頃まで続く後期高齢者の増加と今世紀末まで続く労働人口減少に対して、医療や介護の生産性向上は不可欠。これまで生産性向上という概念とは縁遠い医療界において、データを活用した生産性向上は待ったなしの状況になってきている。



## 【講演 2 - 1 : データ活用が「政策」を変える①】

## 健康・医療情報を活用した行動変容促進事業について

江崎 禎英 氏 | 経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課長

糖尿病をベースとした健康・医療情報をを用いた個人の行動変容を実証するとともに、健康・医療情報の交換規約について提案。



## 【講演 2 - 2 : データ活用が「政策」を変える②】

## レセプト情報・特定健診等情報データベースの活用について

赤羽根 直樹 氏 | 厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課 保険システム高度化推進室長

レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の概要、活用事例。NDB データは政策形成や研究で重要なツールになりつつある。



## 【講演 3 - 1 : データ活用が「地域医療」を変える①】

## 地域医療の充実を目指す「かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）」について

原 量宏 氏 | 香川大学瀬戸内圏研究センター 特任教授 / 一般社団法人 日本遠隔医療学会 会長

15 年前にスタートした K-MIX の最大の特徴は、インターネットとデータセンターを使っていることである。K-MIX は年々機能を増強し、現在 K-MIX+ として地域医療連携に威力を発揮している。K-MIX ならびに K-MIX+ の開発の経緯と今後の展開に関して報告。



## 【講演 3 - 2 : データ活用が「地域医療」を変える②】

## 大船渡市、陸前高田市、住田町をつなぐ「未来かなえネット」について

伊藤 達朗 氏 | 岩手県立大船渡病院長 / 一般社団法人未来かなえ機構 理事

地域医療介護情報ネットワークを構築する上での重要なポイント

1. 真の双方向性 / 2. 医療と介護情報の統合 / 3. 多職種協働のための情報共有とコミュニケーション / 4. 住民参加



## 【講演 4 : データ活用が「ライフ」を変える】

## モバイルヘルス&amp;アプリの世界最新動向について

大川 耕平 氏 | 株式会社スポルツ 代表取締役 / ヘルスbizウォッチ 編集主幹

モバイルヘルスの中でも生活者の健康ライフスタイルに貢献するであろうアプリやサービスの最新トレンドを紹介。



## 【パネルディスカッション】

モデレータ: 大川 耕平 氏

パネリスト: 上記講演者、鹿妻 洋之 氏 (JEITA CPS/IoT 推進タスクフォースメンバー、ヘルスケア IT イノベーション研究会主査)



## 閉会挨拶

JEITA CPS/IoT 推進タスクフォース 副主査 亀尾 和弘

